



釧路公立大学だより

A Aurora A



「この角度で！」石原 瞳（経済学科4年）

東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。

この震災により授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

C O N T E N T S

学長メッセージ	2
新任教員紹介	3
活躍する教員・図書館だより	4
活躍する公立大生	5
就職戦線最新情報	6
公開講座のご案内	7
インフォメーション	8



この夏のこと

釧路公立大学学長 高野敏行

8月初旬のオープンキャンパスには、今年も多くの参加者がありました。そこでは、自分のいくつかの経験を手掛かりに、大学教育と高校までの教育の違いについてお話ししました。そのときに紹介した経験のひとつは、こんなものでした。

わが大学でいえば「基礎演習」にあたる、少人数の授業でのことです。昔風の講読形式で、学生がテキストの担当部分を要約・説明するのです。あるとき、先生と学生の間でこんなやりとりになりました。「きみ、さっきから何度か反省するという言葉を使っているけど、反省ってどんなことなの?」「反省とは自分の行いを振り返ることだと思います」。「ほう、じゃあきみときみの前にあるその机との関係について反省してみてください」。クラスの全員が明らかにショックを受けていました。「反省とは自分を振り返ること」という、国語辞典みたいなとらえ方では許さないぞ、と言われたことに気づいたからです。自分の言葉で、自分が何を考えているかを表現しないと許されない授業なんだ。これが大学での勉強なんだ。あまり熟さない言葉になりますが、自分への問いかけが求められるのが大学での勉強だということです。

さて、オープンキャンパス、集中講義が終わった頃から、日本一涼しい夏を求めて、卒業生が遠方から訪ねてくれます。当然ながら、よく覚えている人もいれば、名前もあやふやな人も、極端な場合は初めて二人で話すことになる人もいます。教師という立場上、そんなときにも何か場がもりあがる話題をこちらが持ちださねば、という気持ちになるものですが、経験上、こんなときに大切なのは、つぎつぎに話題をこなすのではなく、少し抽象的な一つの質問を投げかけて、相手の答えをしっかりと受け止め、自分の心の中から湧いてくる反応を待つことだと思い、それを実行していま

す。これがうまく転がると、相手の言葉に反応して思いがけない記憶や、思い付きが湧いて、どんどん楽しくなるのです。

この夏に私が持ち出した回数が多かったのは、「仕事で成功するのに必要なことは何だと思うか?」という質問でした。印象にのこっていることは、「論理的に考えること」という答えが多かったことでした。年齢も仕事も違うので、具体的な言葉はさまざまですが、共通していたのは、知識をもっているかどうかよりは筋道を立ててしっかり考えることが大切ということです。

どんな仕事のときにそれを実感したのか、論理的に考えることを邪魔するものは、その結論を実現するのに必要なことは、などを彼らの体験を聞いたり、意見を述べたりしていると、つい時間を忘れて、30分の予定が2時間をこえてしまうこともありました。今年訪ねてくれた卒業生がもう若さ、体力、記憶している知識の量だけではこなしきれない仕事に立ち向かっていることを知り、頼もしさ半分、親でもないのに気がかり半分です。力を充分に、発揮してほしいものです。

ところで、この夏自分が「大学教育とは」について話し、「仕事で成功するのに必要なこと」を訊ね、さらにこうして文章にしているのはどうしてなのか、この文章を書きながら気になっています。学長になってから、外での会議・懇談会などに出るたびに、「日本の大学生の勉強時間」、「学士力」、「大学を日本の発展の起爆剤に」といった大学教育についての課題を指摘する言葉を目から、耳から吹き込まれ続けたためかもしれません。上の二つのエピソードの間あたりに大学教育の意義や目標があるのでは、というのが私の答えの第一歩というわけです。

新任教員紹介



着任にあたって

地域経済研究センター長 教授 佐野修久

はじめまして。

本年4月に、地域経済研究センターに着任しました佐野修久と申します。

地域経済研究センターは、地域課題の解決やこれからの地域活性化策等について、域内外の方々と連携して共同で研究を行う、地域の「シンクタンク」としての役割を担っています。これまで、観光、環境、まちづくり、交通、福祉、そして自治体政策など幅広いテーマについて実践的な研究を行っており、その成果を広く発信することで、地域の活性化に貢献してきています。

私は、北海道旭川市出身で、北海道大学を卒業後、地元北海道の活性化に貢献する仕事をしたいと考え、この3月まで北海道東北開発公庫（現在の(株)日本政策投資銀行）という政府系の金融機関に27年間務めていました。ここでは、①政策的な意義の大きな事業への資金提供、②具体的な地域プロジェクトの起業化に向けた金融的視点等によるアドバイスに加え、③地域経済・金融、産業・まちづくり等の地域政策、自治体

経営・公共経営等に関する調査研究や情報発信など、地域活性化に向けた多様な仕事をしてきました。また、この27年の間には、北海道（9年）のほか、東京（9年）、その他の地域（仙台・新潟・富山・高松）（9年）にも務め、北海道を「内」の目と「外」の目両方から見る機会にも恵まれました。

地域経済研究センターでは、こうしたこれまでの経験を活かし、「内」と「外」の両方の視点で地域をみつめ、これまで以上に地域における課題の解決や活性化につながる研究や情報発信に努めていきたいと思っています。

東京を含む「内地」と比べると、釧路の夏は本当に快適で、改めて北海道そして釧路の素晴らしさを感じています。勉学に励んだりクリエイティブな活動をする、アウトドア活動に取り組むこと等には「もってこい」の場所です。こうした環境のもと、学生の皆さんとも協働し、より地域に貢献できる活動をしていく所存です。今後とも宜しくお願い致します。



新天地に想う

教授 白川欽哉

担当科目 西洋経済史、経済史入門ほか

今春より釧路公立大学で教鞭をとることになった白川です。私は、太宰治の生家がある青森県金木町に生まれ、間もなく移り住んだ五所川原市で育ちました。高校卒業後、縁あって今はなき東ドイツ（ライプチヒとベルリン）に6年間留学しておりました。監視国家のイメージだけが興味本位に語られがちですが、二十歳前後の私にとって、人々の生活は驚くほど開放的で、個人主義が徹底し、権利意識が高い国に見えました。今思えば、そうした西欧市民社会の伝統が、東ドイツの人々の潜在力となって体制転換とドイツ統一を推進することになったのだと思います。

帰国した私は、仙台で再度勉学することを決意し、その後札幌でさらに研究者を志すことになりました。選んだテーマは、戦後ドイツ経済史。多様な理論と実証研究に触れ、悪戦苦闘しながら自分の研究スタイルを模索していました。ヨーロッパを感じさせる北海道の気候・風土は、研究の大きな励みになりました。それもあってか、秋田での就職が決まったときは、立ち去り難い思いで津軽海峡を渡りました。

それから14年、教育者・研究者として研鑽を積んだのちに、北海道帰還の希望を、釧路公立大学への赴任という形で実現することができました。フェリーで苫小牧に上陸し、さらに釧路へと移動するなか、車外の風景が徐々にヨーロッパ的に変わっていくのが分かりました。米作中心の東北暮らしの長い私には、道東の畑作地帯や酪農地帯が非常に新鮮に見えました。動植物の宝庫である釧路湿原や阿寒国立公園、根釧台地は、とても魅力的な景観です。他方で、これから訪れる冬の氷の世界は、小さな不安の種となっています。けれども、それを克服し、楽しみに変えていくノウハウを道東の皆様にご教示いただけることでしょう。

まだまだ、知らないことばかりですが、釧路公立大学の方々が蓄積してきた経験と知識に学びながら、教育活動の一層の充実に努めて参りたいと思います。また、専門のドイツ現代史研究を深めて行く傍ら、比較経済史的な観点から、道東経済圏の歴史と現状についても興味・関心を広げていきたいと思っています。



会計専門職をめぐる教育の現場から

准教授 島 信 夫

少子化と大学教育の大衆化が進行し、多くの大学では就職活動を始めとする様々な面で学生の支援を行っています。最高学府たる大学が、教育以外のサービスに取り組んでいることに隔世の感を抱く御父兄もおられるでしょう。会計専門職をめぐる会計教育の現場から、付け焼き刃でない教養の修得と人格形成の必要性を考えたいと思います。

19世紀の英国において会社倒産をめぐる紛争をパブリック・インタレストの立場から解決したのが会計専門職の誕生といわれています。他の専門職と同様に専門的能力が必要とされるだけでなく、パブリック・インタレストへの貢献という職業倫理の遵守を求められるのが、会計専門職の特色です。わが国では、平成15年の法改正によって、

会計専門職を養成する会計専門職大学院の設置が認められ、会計専門職登録後の継続的専門研修の義務付けも行われました。その翌年には会計教育に関する国際的基準を尊重するSMO2を受け入れた結果、資格取得を目指す場合には、専門的能力だけでなく、職業的専門家に相応しい人的資質ならびに職業的専門家としての価値観・倫理・態度を修める必要があります。すなわち専門職を志望する以前の教養の下地や人格の基礎が会計教育の成否を握っています。

専門職志望の有無に関係なく、この4年間は卓越した見識を形成する貴重な時期です。学生諸君が、先人の知的遺産を学ばれ、長きに渡って社会で活躍されることを祈念しております。

図書館だより

附属図書館では平成23年10月から新システムが導入され、蔵書検索システムに新しい機能が加わりました。

「OPAC」(Online Public Access Catalog)蔵書検索システムとは、本学の図書館にどんな資料が所蔵されているか、配置場所はどこか、どんな状態かなどをパソコンで検索するシステムのことです。ホームページから検索画面へつながるため自宅など外部からでも利用でき、限られた時間で必要とする資料を探したいときにはとても便利です。

さらに、パスワード登録をすることにより、貸出中の図書の予約や、自分が今までに借りた図書の履歴確認、本大学に所蔵していない図書を他大学等から借りる申込みなど、さまざまな利用者サービスを受けることができます。

特に貸出履歴の確認は、以前に借りた図書の情報が分からなくなっても調べることができるの

で、レポート作成や試験のときに役立つのではないのでしょうか。

パスワード登録は図書館カウンターで受付けています。学生証を持参し申し込んでください。

また、時間に余裕のある時は、ゆっくり図書館で過ごしてみたいはいかがでしょうか。

人気の学生図書コーナーには、雑誌や話題の図書などがあり、それぞれ自由な空間で読書を楽しむことができます。情報の宝庫といわれる大学図書館には、学習に必要な資料はもちろん、大学生活をサポートする様々な情報がいっぱいです。図書と上手につきあって知識や思考力を高めることは、学業面だけでなく人生においても、きっと皆さんの助けになるはずです。



男子バスケットボール

経済学科3年 藤崎 太暢

こんにちは。男子バスケットボール部です。私たちは10月に行われるリーグ戦に向けて日々練習を行っています。昨年このリーグ戦において2点差、4点差などの接戦の末に惜敗し、惜しくもリーグ昇格を逃してしまいました。この時の悔しい気持ちを忘れずにこの一年間練習を積んできました。今春には、多くの一年生部員が入部し、より質の高い練習環境となっています。今年こそリーグ昇格のために、10月の大会まで全員で頑張っていきたいと思えます。

男子バスケ部の練習は、週に4回、夕方から釧路公立大学の体育館で行っています。試合は10月に行われるリーグ戦の他、市内大会や大学の春季大会などに積極的に参加しています。市内大会では社会人チームと対戦することもあるため社会人との体格の差で負けないよう筋トレを行う意識の高い部員も多いです。練習には教

員の神野先生が見に来てくれ、アドバイスなどをもらっています。また、試合の時などは監督として支えていただき、部員一同とても感謝しています。私たち男子バスケ部は、先生方や歴代の先輩方など色々な方に支えてもらいながら活動し、日々の練習に励んでいます。

今年こそリーグ昇格できるようこれからも1日1日の練習を大切に取り組んでいきますので、応援よろしくをお願いします。



ダンスサークル

経済学科3年 南 あかり

こんにちは。釧路公立大学ストリートダンス部OZです。私たちダンス部は現在20名で活動しており、柔剣道場にて日々練習に励んでいます。

活動内容としては、学内行事であるHAPPY祭や大学祭への出演はもちろんのこと、自動車学校や福祉施設などで行われるイベントや、霧フェス・港祭りなど釧路市のイベントにも参加させて頂いています。

また、札幌や帯広で行われるダンスイベントやダンスバトルに参加するメンバーも多く、釧路のみならず活動の場を全道に広げつつあります。

さらに近年では北海道教育大学釧路校・北見工業大学・帯広畜産大学の3校と共同で「TRY!!!」というイベントもたちあげました。このイベントを通して道東の学生にダンスの魅力を知ってもらい、学生ダンスシーンの拡大や札幌など他の地域のダンサーとの繋がりも持てるようになればいいと考えています。

現在、義務教育にダンスが取り入れられるな

ど、ストリートダンスへの注目度は年々高まっていると感じています。また、テレビなどのメディアでストリートダンスがとりあげられることも増え、同時にダンスを目にする機会も増えていると思います。

しかし、画面を通して見るのと実際に生で観るのとは大きな違いがあります。学生以外の幅広い年齢の方にもストリートダンスの良さを知ってもらいたいと考えているので、ぜひ一度私たちの踊るイベントに足を運んでみてください。

応援よろしくをお願いします。



景気が若干ながら上向き傾向にある現状の中で、企業における厳選採用は変わらず、就職活動をする学生にとっては厳しい状況となっています。しかしながら、企業側は東日本大震災の復興も踏まえ、採用抑制とならないよう努力をしていることが伺われます。また、昨年より企業の採用広報活動開始が12月1日に統一され、学生にとっては実際の就職活動が2カ月後ろ倒しとなりました。このように学生の就職活動の体制がその時その時で変化を強いられており、ここでも社会に対する適応力が求められるところと思われます。

そのような中、今年も多く4年生から内定の報告が上がってきており、前年同期に比べると、若干上向きの傾向を見てとることができます。本学では卒業生が全国各地、多種多様な業界で活躍しており、高い評価をいただいています。その結果として継続して求人を頂き、在学生の就職につながっているケースも多くあります。また、公務員試験も、県庁、北海道上級、各都道府県の警察、地方自治体等の合格が報告されています。公務員希望者が増加傾向にある中、重ねてきた努力の成果が確実に表れていると思います。

今年度から札幌に開設した「サテライトスペース」も、釧路を離れて就職活動をする学生に有効活用されています。4年生の就職活動が続く一方、3年生の就職活動がもうすぐ始まります。後期が始まると、3年生対象の就職対策の講座・ガイダンスやエントリーシート・履歴書の添削などが、週1回のペースで開催されます。いざ就職活動本番の時に、全ての学生が自信を持って前進できるよう大学は応援していきたいと思えます。

卒業予定者の内定先リスト

(現在の内定状況) 2012/09/24

■ 建設業

アキュラホーム、大和ハウス工業、北海電気工事

■ 製造業

ノボ ノルディスクファーマ、フクビ化学工業、加藤製作所、科研製薬、熊谷、辰巳屋興業、日本メディカルプロダクツ、日本食研ホールディングス、日本臓器製薬、北海道糖業、北海紙管、柳月、六花亭製菓

■ 卸売・小売業

イオン北海道、マックスバリュ北海道、コープさっぽろ、ダイイチ、福原、ライフフーズ、サンデー、ほくやく、モロオ、ヤマザワ、ユニバース、リライアブル、セブン&アイHL DGS、ローソン、旭川スズキ販売、岐阜トヨペット、スズキ自販山形、北海道クボタ、ホンダカーズ札幌中央、UDトラックス道東、寺岡ファシリティーズ、成電社、大館市青果魚類卸売、丹波屋、北良、東邦薬品、サッポロドラッグストアー、ツルハ、薬王堂



■ 金融・保険業

北日本銀行、荘内銀行、北洋銀行、北海道銀行、みちのく銀行、旭川信用金庫、網走信用金庫、帯広信用金庫、釧路信用金庫、大地みらい信用金庫、苫小牧信用金庫、中兵庫信用金庫、北星信用金庫、北門信用金庫、北海道労働金庫、青森県信用組合、十勝信用組合、北央信用組合、北海道信用農業協同組合連合会、野村証券、第一生命保険、日本生命保険、東京海上日動火災保険、SBIホールディングス、三備保険事務所

■ 運輸・情報通信

USEN、アイエックス・ナレッジ、アイティ・コミュニケーションズ、オービック、サカイ引越センター、ソフト技研、フラワーヒルズ、苫小牧埠頭、日販コンピュータテクノロジー、富士通エフ・アイ・ピー、富士通システムズ・イースト、北海道CSK、北海道新聞社、北海道日本電気ソフトウェア、北海道旅客鉄道、北日本コンピューターサービス、郵便局

■ 電気・ガス

釧路ガス

■ 不動産業

セキスイハイム東北、レオパレス21、常口アトム

■ サービス

ホクレン農業協同組合連合会、ありだ農業協同組合、たいせつ農業協同組合、浜中町農業協同組合、山形農業協同組合、平内町漁業協同組合、ANA新千歳空港、エイチ・アイ・エス、加森観光、北海道アルバイト情報社、練成会グループ、マイナビ、カナモト、北海紙管、あいプラン、日本年金機構、シェイプアップハウス、みなと寮、ワールド会館、医療法人新産健会、函館五稜郭病院、宗教法人真如苑、幸楽苑、神姫フードサービス、日本ケンタッキー・フライド・チキン、平和園、ダイナム、合田観光商事、阿寒グランドホテル、立岩

■ 地方公務

宮城県庁、福島県庁(警察事務)、北海道庁(上級)、八戸市役所、札幌市役所(学校事務)、釧路市役所、警視庁、宮城県警察、北海道警察

公開講座のご案内

平成24年度釧路公立大学公開講座

公開講座各講師の講演テーマ及び概要

テーマ 決断力の経営

■宮下 弘美 教授

講演テーマ 経営者・政治家たちの「決断」－戦前の日本の経済発展をめぐる－

概要 明治以降の日本は、他国の植民地になることを避け、いち早く近代化を達成するために、「富国強兵」（経済成長と軍備増強）策を推進していった。そのプロセスを顧みると、時代の節目に、政府も経営者も大きな「決断」をしなければならないことがあった。この講座では、財政や戦前の日本の主力産業であった繊維・鉄道業などをとりあげ、彼らがどのような目的のために、どのような「決断」をしなければならなかったのか、ということを紹介していきます。

■阿部 順一 准教授

講演テーマ Excelを意思決定に－ピボットテーブルとソルバー－

概要 毎日使っているExcelですが、ピボットテーブルとソルバーがあることを知っている人は少ないでしょう。我々は毎日、大量のデータに囲まれています。データは整理しなければ意味がありません。その時に役立つのがピボットテーブルです。関数やマクロを使うことなく、面倒な集計や分析作業が簡単な操作で即座にできます。また、経営活動の現場でよく出会う「線形計画問題」と「ロジスティック回帰分析」をソルバーで考えます。

■濱田 弘樹 教授

講演テーマ 意思決定（決断）を裏付ける「会計」を理解しよう

概要 我々は日々、意思決定（決断）に迫られます。人生の岐路にあった時、重大な決断を下さねばならない時・・・我々に限らず、それこそ多数の従業員の人生を左右する企業の経営は意思決定といった行動の連続とも言えましょう。道筋を誤らないために、繰り返し発生する問題や未経験の課題に対して、的確な判断に基づき意思決定を進めて行く他ありません。

公開講座では、この意思決定に関する「会計」を幾つか事例を通して取り上げます。企業が経営を行うために、また今日見られる企業の行動が何を根拠に行われるのか、背後にある「会計」を読み解くことが理解への近道かも知れません。企業の意思決定の裏側にある「会計」に対する理解をアップさせましょう。

■西村 友幸 准教授

講演テーマ アリストテレスに学ぶ事業の定義

概要 事業の定義とは、「われわれの事業は何か。またどうあるべきか」を定めることであり、企業経営にとって最も基本的な、そして最も重要な決断です。事業の定義は狭すぎても広すぎてもダメで、「適度な」広がりを持たせることが大事だといわれています。では、どうすればそのような理想的中庸を実現できるのでしょうか。問題を解く手がかりは、「万学の祖」と称される古代ギリシアの哲学者アリストテレスが残した叙述の中に見出せます。

■釧路公立大学公開講座 1回目

日時	10月3日（水）18：30～20：00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	宮下 弘美 教授
演題	経営者・政治家たちの「決断」－戦前の日本の経済発展をめぐる－

■釧路公立大学公開講座 2回目

日時	10月10日（水）18：30～20：00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	阿部 順一 准教授
演題	Excelを意思決定に－ピボットテーブルとソルバー－

■釧路公立大学公開講座 3回目

日時	10月17日（水）18：30～20：00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	濱田 弘樹 教授
演題	意思決定（決断）を裏付ける「会計」を理解しよう

■釧路公立大学公開講座 4回目

日時	10月24日（水）18：30～20：00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	西村 友幸 准教授
演題	アリストテレスに学ぶ事業の定義

■釧路公立大学公開講座 5回目

日時	10月30日（火）18：30～21：00
場所	鶴居村総合センター 第1研修室
講師1	阿部 順一 准教授
演題1	Excelを意思決定に－ピボットテーブルとソルバー－
講師2	西村 友幸 准教授
演題2	アリストテレスに学ぶ事業の定義

■釧路公立大学公開講座 6回目

日時	11月1日（木）18：30～21：00
場所	釧路市音別町コミュニティセンター 研修室
講師1	宮下 弘美 教授
演題1	経営者・政治家たちの「決断」－戦前の日本の経済発展をめぐる－
講師2	濱田 弘樹 教授
演題2	意思決定（決断）を裏付ける「会計」を理解しよう

- ・釧路公立大学会場：釧路公立大学 2階202教室
釧路市芦野4丁目1番1号
- ・鶴居村会場：鶴居村総合センター 第1研修室
鶴居村鶴居西1丁目1番地
- ・釧路市音別町会場：釧路市音別町コミュニティセンター 研修室
釧路市音別町中園1丁目78番地

- ・受講無料
- ・対象 高校生以上
- ・受講方法 お申込みの必要はありません。

表紙写真解説 「この角度で！」

コミミズクはほぼ全国で見られる冬鳥です。とはいえ彼ら猛禽類は夜行性なので、このフカフカとした姿を明るいうちに自然の中で観賞するのは難しい事です。この愛らしい姿をみられるのは、動物園ならではです。

もちろん釧路市動物園には他にも数種の猛禽類が展示されており、珍しい天然記念物のシマフクロウなども大切に飼育されています。しかし彼らはカメラを向けても、「私をそんなデジカメで撮るのか？撮りたいのか？ならば撮るがいい!!この枝の

写真部 経済学科4年 石原 瞳

奥にいるから・・・(笑)」と相手にしてくれませんでした。このコミミズクは違います。カメラを構えた瞬間クルッとこちらを向いて、「今カメラ向けてくれた？撮る撮る!?待って！今キメ顔作るから!!」と目を見開いてポーズをとってくれました。鼻で男でも愛嬌があるようです。皆さんも是非釧路市動物園へ行ってみてください。アテレコで一日遊べます。

撮影地：釧路市動物園 撮影日：平成24年6月3日

K.P.U. フェスタ2012

K.P.U.フェスタ実行委員会委員長
経営学科3年 小笠原 宏樹

公立大生、その保護者のみなさん、こんにちは。
今年も大学祭の季節がやってまいりました。
「K.P.U.フェスタ」は今年で11回目を迎えることとなりました。これも保護者の方々のご協力あってのことだと思います。本当にありがとうございました。

K.P.U.フェスタ実行委員会は、学生だけでなく、子供からお年寄りまで幅広い年代の人々に受け入れられる大学祭づくりを目指して日々活動しています。地域交流の場でもある大学祭が、より多くのお客さまを楽しませることで、釧路を活気づけることにつながっていかばと思っています。

さて、今年度の大学祭は「わ!」というテーマのもとで開催します。毎年一年生の基礎演習ごとに出している「フレンドパーク」や、釧路市議会による市議会報告会などを予定しています。その他にも、サークルやゼミ等の団体が出店する露店や様々な企画も予定しており、みなさんに楽しんで頂ける内容となっております。

日程は、10月5・6・7日の3日間です。保護者の方々もお時間があれば、是非「K.P.U.フェスタ2012」にお越しください。



K.P.U.フェスタ 2012

2012年10月5日(金) 駐車場には限りがございます。
6日(土) ご来場の際は公共交通機関を
7日(日) ご利用ください。

※一般公開は6日(土)・7日(日)となります。
釧路公立大学 K.P.U.フェスタ実行委員会
TEL 0154-37-6720

◎大学祭 (K.P.U.フェスタ) の開催時刻

前夜祭 10月5日(金) 17:30~20:00 本祭 10月6日(土) 10:00~20:00 最終日 10月7日(日) 10:00~20:00
※一般公開日は、10月6日(土)・7日(日)となります。

◎平成24年度後期授業料の納付について

本年度の後期授業料の納付期限は、10月31日までとなっております。同封された「納入通知書兼領収証書」用紙により、金融機関から振り込んでください。授業料の納付の延期や免除については、特別な事情により大学が認めた場合に限り可能です。詳しくは事務局総務課へお問い合わせください。

編集後記

3・11大震災から1年半が経ちました。本学は今年で開学から数えて25年目。短いようで色々な出来事がありました。国際情勢の変化も目まぐるしいものがありました。バブル経済の1980年代末から90年代の不況、そして2008年秋のリーマンショック。また、東西ドイツの統一、ソ連崩壊と9・11事件(グローバル化)などです。今回の大震災の復興が進むなか、本学の四半世紀も終りに近づいています。さて、これから新しい25年間の真のスタートとなるでしょうか。

釧路公立大学だより 第46号
平成24年10月1日発行

◎発行元
釧路公立大学
〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号
TEL 0154-37-3211(代)
FAX 0154-37-3287
学生課: TEL 0154-37-5091
URL: <http://www.kushiro-pu.ac.jp/>
◎発行日
毎年2回(4月1日、10月1日)